

議案第 63 号

今後の保育制度のあり方についての意見書

上記の議案を別紙のとおり会議規則第 14 条第 2 項の規定により提出します。

平成 21 年 3 月 18 日

提出者 厚生委員長 足立 誠

今後の保育制度のあり方についての意見書

昨年5月に、社会保障審議会少子化対策特別部会から「次世代育成支援のための新たな制度体系の設計に向けた基本的考え方」が示されました。この中には、保育所の利用方式、参入の仕組み等保育行政の根幹にかかわる問題や、さらに検討しなければならない事項が多く含まれており、今後の保育制度の検討に際しては、子どもの健やかな育成の支援を基本とすべきと考えます。

よって、国におかれては、下記事項を踏まえたさらなる検討をするよう強く要請します。

記

- 1 今後の保育制度の検討については、自治体及び保育関係者からの意見を十分考慮し進めること。
- 2 子どもの健やかな育ちを支援するため、保育の質の維持・向上を図ること。
- 3 保育需要の増大及び多様化の中で、次世代育成支援策を拡充するため、十分な財源を確保すること。
- 4 認可外保育施設や認定こども園などに対する支援策を強化すること。
- 5 保育料の負担軽減について検討するとともに、安易に保育料徴収事務を現場の保育所に委ねることがないよう配慮すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成21年3月18日

上田市議会議長 丸山正明